©創通・サンライズ

MOBILE SUIT RX-93-ν2
Hi-ν GUNDAM "Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER:RX-93-ν2, HEIGHT:20.0m, WEIGHT:27.9t, MATERIAL:GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS / 60mm VULCAN GUN×2, BEAM RIFLE×1, NEW HYPER BAZOOKA×1, BEAM SABER×3,
SHIELD(BEAM CANNON×1, MISSILE×4)×1, BEAM GATLING GUN×1, FIN FUNNEL×6

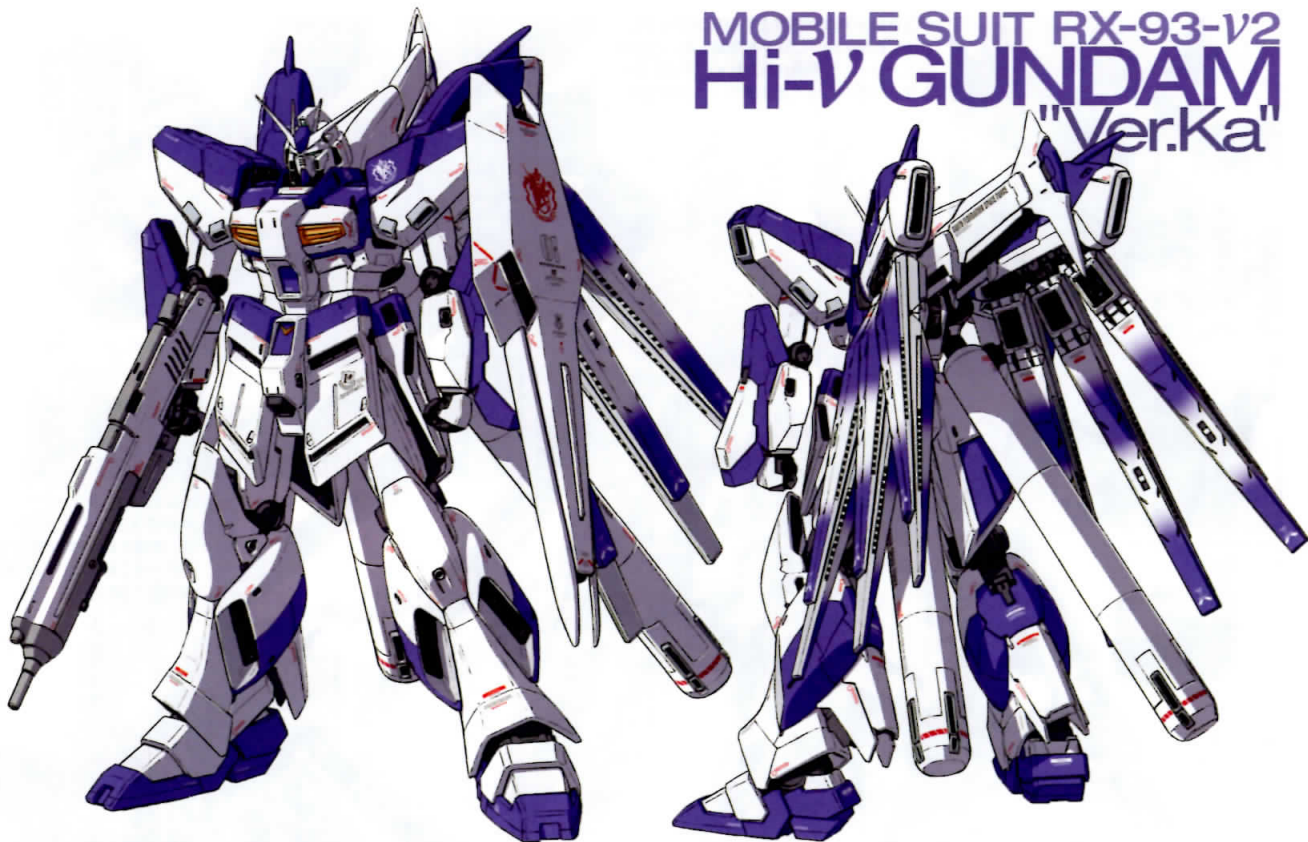
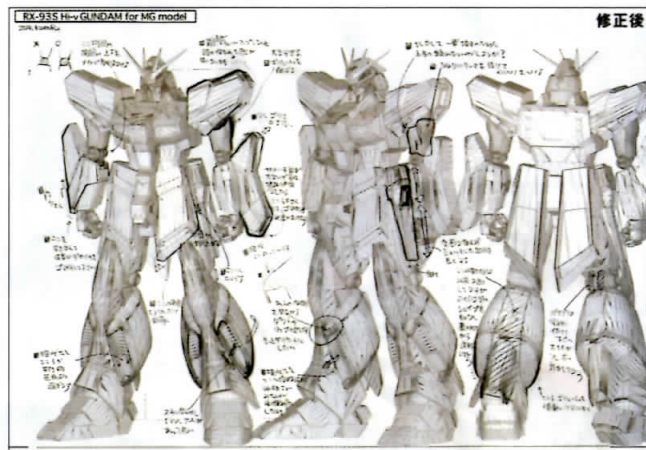
CONSTRUCTOR:ANAHEIM ELECTRONICS

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/

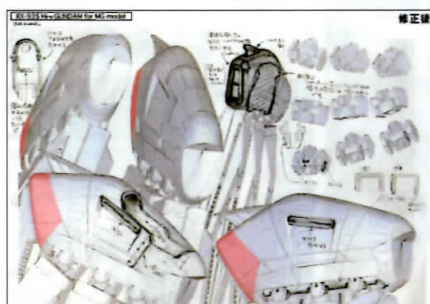
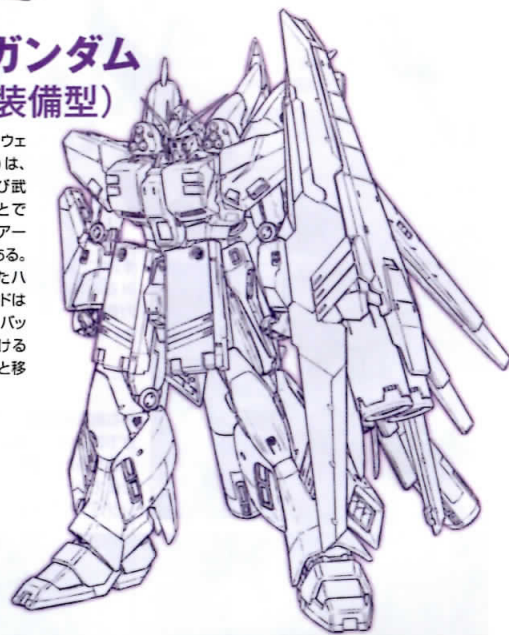
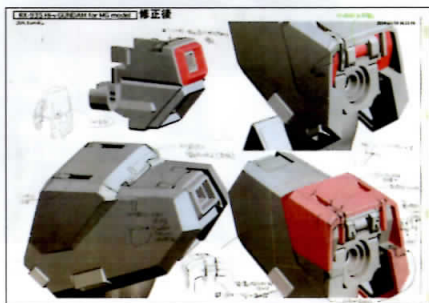
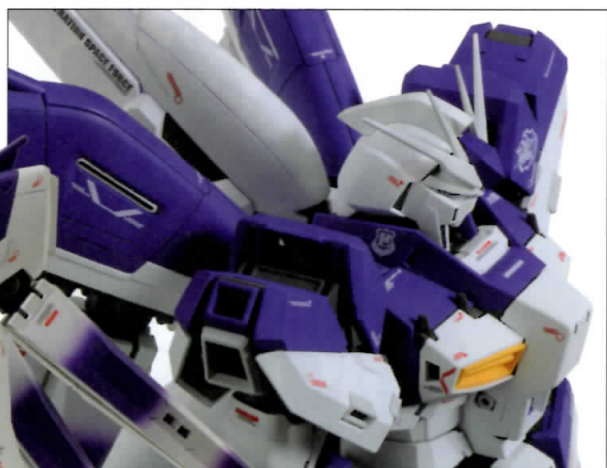
AMURO RAY'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT FOR NEW TYPE
U.C.0093 E.F.S.F.(LONDO BELL UNIT)

BANDAI 2014 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は塗装してあります。 ※本書内の開発画稿は準備稿です。 0192078

MOBILE SUIT RX-93-ν2 Hi-ν GUNDAM "Ver.Ka"

RX-93-ν2 Hi-ν ガンダム

⬆Hi-νガンダムはロンド・ベル隊所属のニュータイプ専用MSである。元々アナハイム・エレクトロニクス社のフォン・ブラウン工場で開発中の新型MSであったものを、ブライト・ノアが赴任の際に手土産としてロンド・ベルに配備されるよう手配したのである。メイン・パイロット兼メカニックのアムロ・レイみずから設計したサイコミュを搭載し、攻防一体のサイコミュ兵装"フィン・ファンネル"を装備する

⬆カトキ氏による各部の修正案。出渕氏の初期画稿にイメージを近づけるべく、肩や腕、脚の形状について指示が書き込まれている

Hi-ν ガンダム (HWS装備型)

➡HWS(ヘビー・ウェポン・システム)は、機体に装甲および武装を追加することで強化を図る"フルアーマー化"プランである。左腕に装着されたハイ・メガ・シールドは変形機構をもち、バックパックに取り付けることで第2形態へと移行する

⬅⬆左の画稿では装甲の隙間から見える内部ディテールのバランス調整、上の画稿ではファンネル・ハンガーにダクトを増設、接続基部へスジ彫りの追加が指示されている

⬇展開機構をもつ肩上面装甲と本体の接続部周辺について、V字の溝や傾斜の指示が書かれている。プレーンな装甲に対し、変化に富み、情報量の多い部分

⬅コクピットハッチが上方向にスライドし、さらに胸部中央ブロックも可動する。内部はリニアシートも再現され、カメラアイを発光させるLEDユニット（別売り）を収納できる

⬆ガンプラ用LEDユニット（緑）（別売り）

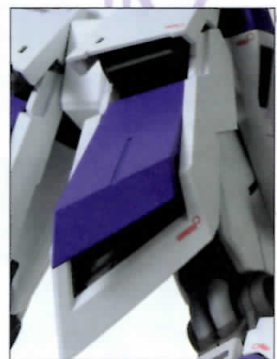
⬆肩上面の装甲が展開すると内部のスラスターが露出する。側面下部の装甲は腕の動きに干渉しないよう、可動機構が設けられている

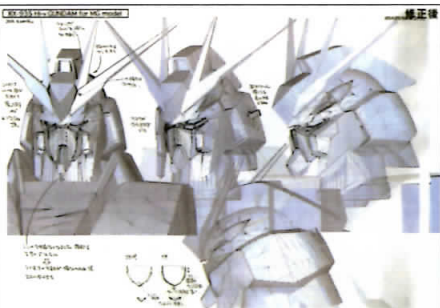
⬆νガンダムと比較してみるとHi-νガンダムは力強いフォルムになった

➡バックパックは中央にテール・スタビレーター、両側にファンネル・ハンガー、下部にプロペラント・タンクが配置されている

⬅右前腕部のカバーを開き下部ブロックをスライドさせると、4門の砲身を備えたビーム・ガトリングガンが引き出される

⬆収納スペースに対して、極力隙間をなくしつつビーム・ガトリングガンが大きくなるよう、内部パーツの調整が検討されている

⬅左腕の予備ビーム・サーベルラックにはカバーが付き、カバーと下部ブロックを展開するとビーム・サーベルが引き出せる

⬆リアスカート・アーマーは大腿部が隠れるほどの大きさで、2か所の装甲が展開。内部のスラスターが露出する

⬆左前腕部にビーム・サーベルを装着したままビーム刃を取り付け可能で、右前腕部のビーム・ガトリングガンにもビーム刃を取り付けられる

⬆頭部は前後に長い形状をもつ。マスク部分の傾斜をゆるやかに、カメラアイが近づきすぎないよう注意を促している

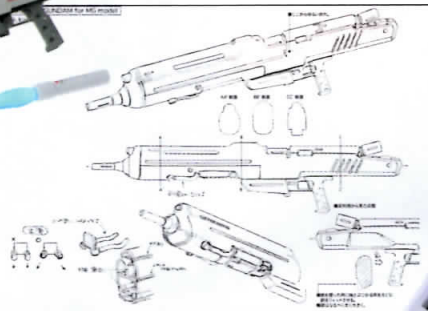
⬅砲身をスライドさせてコンパクトになったニュー・ハイパー・バズーカを、バックパックのマウント・ラッチに装着できる

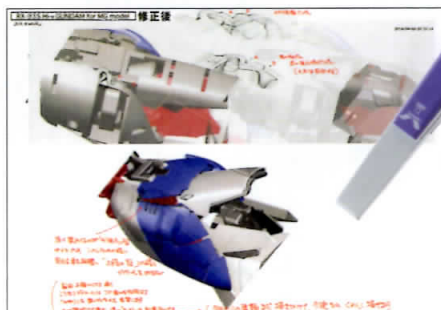
➡アムロのパーソナルマークを象った専用台座が付属する。接続アームを利用すれば、攻撃形態のフィン・ファンネルを周囲に配置してディスプレイできる

⬇ファンネル・ハンガー上部のカバーを開くとビーム・サーベルを収納できる

⬆アムロ・レイのフィギュアが２種付属

⬆➡シールド、ニュー・ハイパー・バズーカ、ビーム・ライフル、ビーム・サーベルが付属

➡ビーム・ライフルの側面は均一な平面ではなく、３か所での断面図では形状も異なる。バレル下のチューブはうねったような形状で、ハの字になる位置に取り付けられている

⬅脚部はふくらはぎの上部と両側面、ノズル・カバーが展開する。スラスターなどの内部メカも露出する

➡脚部装甲を展開することで見える内部メカに対する案。くっきりとした彫りの深いディテールになるよう提案されている

⬆ファンネル・ハンガーのソケットに折り畳んだフィン・ファンネルを３基ずつ装着する。フィン・ファンネルのパープルのグラデーションは水転写式デカールで再現できる

「Hi-νガンダム」デザインの原点を探って

Hi-νガンダムは特異な立ち位置に存在しながら人気の高いMSであり、公式設定デザインを元にMGで一度キット化されている。このたびのMG Ver.Kaではどのようなアプローチで挑んだのだろうか。

Interviewee ; KATOKI HAJIME

Hi-νガンダムは富野由悠季監督による小説「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン」に登場する。「ベルトーチカ・チルドレン」は富野監督が"モチーフ小説"と表現するように、本編である劇場版シナリオ第一稿をベースにしたオリジナル作品になっている。映画と活字での表現の違いや、作品に対するプリミティブな思いが表出した、富野監督の代表作のひとつである。Hi-νガンダムはパラレルな存在で、本編である劇場版のνガンダムと同じ立ち位置になる。「ベルトーチカ・チルドレン」にはほかにもオリジナルのMSが登場し、Hi-νガンダムも含め劇場版デザインを手がけた出渕裕氏によって起こされている。さらにいえば、劇場版に即したストーリーと前日譚を収録したアニメージュ文庫の「逆襲のシャア」(徳間書店)も存在する。アニメージュ文庫版ではカバーイラスト、挿絵をSF漫画家・星野之宣氏が手がけ、独自のアレンジが加えられたνガンダムが登場する。「逆襲のシャア」はパラレルな要素をいくつも抱えた異色な作品といえる。

カトキ「小説『ベルトーチカ・チルドレン』でメカデザインを担当された出渕さん自身が、新たに公式設定としてデザインを起こし直してキット化したのが最初のMG Hi-νガンダム(2007年発売)です。この時のHi-νガンダムは平成風のスマートなシルエットでリファインされて、MG化ののちもHGUCや、HCM-proなどのリリースが続き、どれも十分な成功を収めました」

出渕氏によって刷新されたHi-νガンダムは「EXTREME VS.」シリーズなどのゲームにも登場し、20〜30代のファンにはリニューアル版のほうがなじみのあるデザインだろう。

カトキ「ただ、私はリニューアル前のデザインがもったいないなぁとずっと思っていて、最初のMGの開発の時も細部の処理などの手伝いをしながら、太ましいHi-νガンダムを変えちゃうのは惜しいと言ったんですが、まあ将来的にはリニューアル版とはまた違った商品化もきっとあり得るだろうからと、その時はそれで納得していました。それが今回バンダイさんから『次のVer.Kaは逆シャアの流れでHi-νガンダムをやるのはどうでしょう?』と言われて、コミカライズの『ベルトーチカ・チルドレン』などの機運から、このタイミングならオールドタイプのHi-νガンダムもあり得るんじゃないかとまた思い始めて、出渕さんや、当時のサンライズ担当の方とも相談していって、こうしてやらせていただける形となったのです」

「ベルトーチカ・チルドレン」でシャアが乗るナイチンゲールは怪獣のようなフォルムだが、発表当時のHi-νガンダムもそれに負けない力強さを秘めていた。ボリュームアップした四肢と装甲に加え、羽根のようなファンネル・ハンガーを装備した姿は、シンプルなνガンダムを見慣れていた当時のファンに衝撃を与えた。カラーリングも「逆襲のシャア」でのシックな色合いから、ガンダムでは珍しいパープルに変更されている。

カトキ「前回のMGで、ああいった明るめのブルーがオフィシャルの成形色となる前には、Hi-νガンダムの機体は、もっと紫に近い色で塗られていました。今回のVer.Kaの仕様では昔の画稿っぽい濃い紫の成形色が良いのではないかとバンダイさんにお願いして、普段はあまり使わないパープル系のプラスチックを探してもらいました」

キットではファンの記憶の中にあるであろうかつてのHi-νガンダムを極力再現できるよう、フィン・ファンネルの塗り分けに選択できる幅をもたせてある。

カトキ「フィン・ファンネルのカラーリングについても、過去の資料をあたると、塗り分けはされておらず、白の単色で着色された画稿もありました。しかしパープルのグラデーションで描かれたものも有名でしたから、キットでは白のプラで成型して、好み次第でデカールを使ったり、塗装したり出来るようになってます」

さらには意欲的な試みとして出渕氏が企画CCA-MSV(「逆襲のシャア」モビルスーツ・バリエーション)でデザインした「HWS(ヘビー・ウェポン・システム)」との融合も果たしている。

カトキ「HWSは、本来だとνガンダムのフルアーマー装備なんですが、今回はHi-νガンダムに移植するという思い切ったアレンジをしてみました。これまでのHWSの改良型と考えて頂いても、Ver.Ka的な解釈の"遊び"に過ぎないと考えて頂いても、自由に捉えて頂ければと思います。出渕さんにもHi-νに付けさせてねって了解を貰いましたよ(笑)」

たとえば映画にはオリジナル公開版からディレクターズ・カットなどいくつもバージョンが存在することもあり、その解釈の違いを楽しむこともできる。

カトキ「『ファーストガンダム』でのGファイターとコア・ブースターの関係のように、ガンダム作品ではパラレルな存在が生まれることがときにあります。ガンダムファンはその双方を受け入れ楽しむ術を長い時間をかけて身につけてきたので、リニューアル版に続き、長らく手つかずだった初期のデザイン版も今回商品化されたことで、Hi-νガンダムの魅力を語ったり作ったり、皆さんが掘り下げる時のきっかけにでもなればうれしいですね」

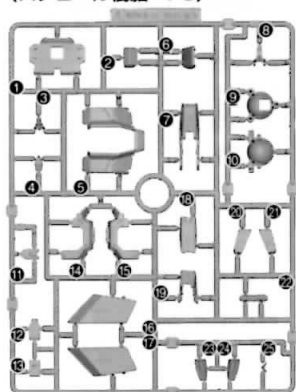
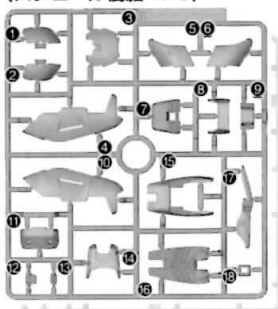
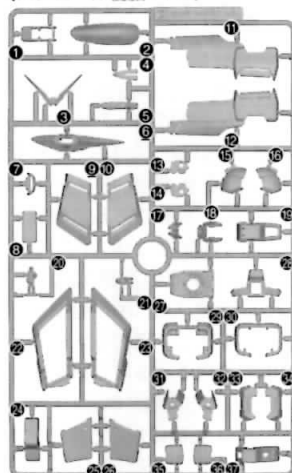
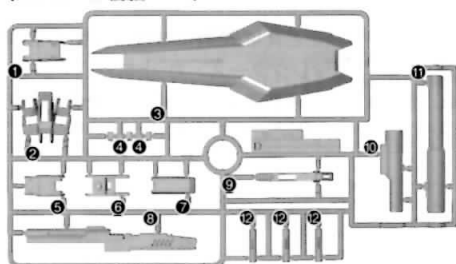
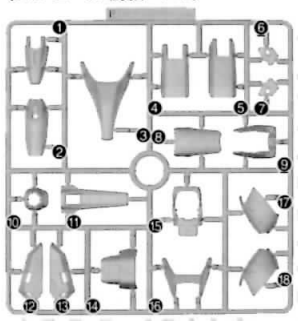
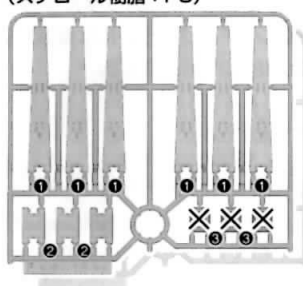
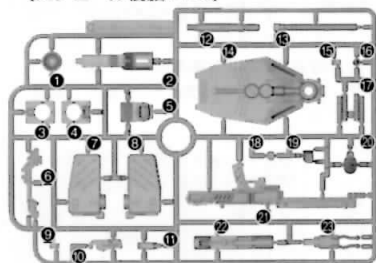
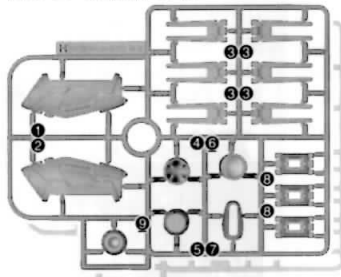
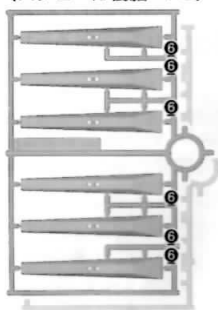
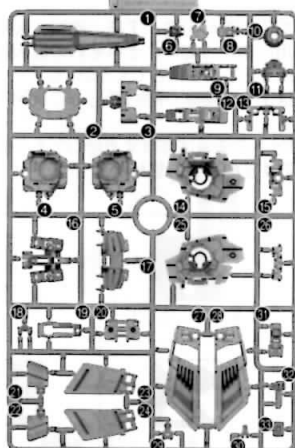
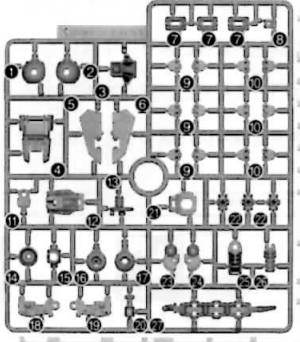
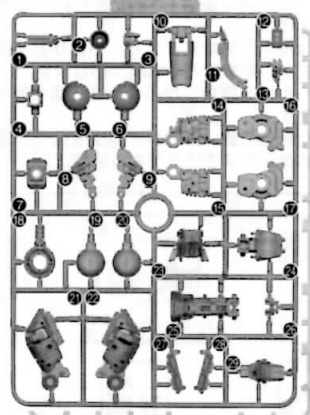
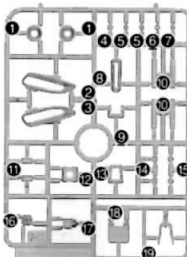
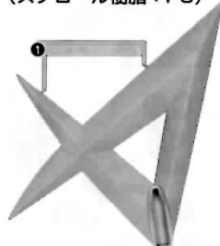
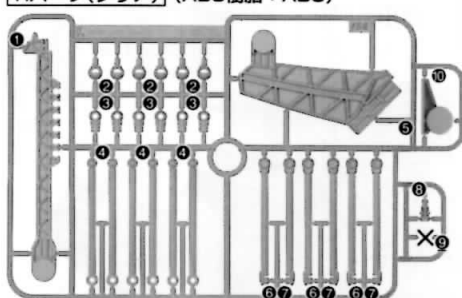
機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン

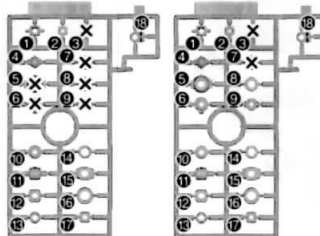
U.C.0093年、ロンド・ベル隊のアムロ・レイは、ネオ・ジオン総帥となったシャア・アズナブルとの対決に備え、Hi-νガンダムの開発を進めていた。シャアは地球連邦政府に宣戦を布告し、地球寒冷化作戦を敢行。資源衛星アクシズを地球に降下させるべく、行動を開始する。赤いMSナイチンゲールで戦場に赴くシャアに対し、アムロは完成したばかりのHi-νガンダムで決戦に挑む

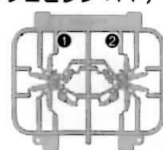
➡Hi-νガンダムのファースト・イメージが小説「ベルトーチカ・チルドレン」の解説イラストにて出渕裕氏の手により描かれている

●角川スニーカー文庫「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン」著:富野由悠季/角川書店

(✕印は使用しないパーツです。)

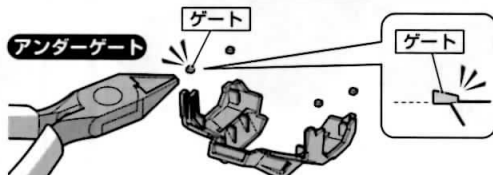
Aパーツ(イロプラ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂：PS)

Bパーツ(パープル) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂：PS)

Cパーツ(ホワイト) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂：PS)

Dパーツ(ホワイト) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂：PS)

Eパーツ(ホワイト) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂：PS)

Fパーツ(ライトグレー) (×2)
(スチロール樹脂：PS)

Gパーツ(グレー) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂：PS)

Hパーツ(ホワイト) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂：PS)

Iパーツ(ホワイト) (×2)
(スチロール樹脂：PS)

Jパーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂:PS)

Kパーツ(ダークグレー) (×2)
(スチロール樹脂:PS)

Lパーツ(ダークグレー) (×2)
(スチロール樹脂:PS)

M1パーツ(ライトグレー)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂:PS)

Qパーツ(ブラック)
(スチロール樹脂:PS)

Rパーツ(クリア) (ABS樹脂:ABS)

M2パーツ(ライトグレー)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂:PS)

PC-208Aパーツ(ダークグレー) (×2)
(ポリエチレン:PE)

※余ったPC⑩は、別売りの「MG Hi-νガンダム Ver.Ka用HWS拡張セット」のシールドを組み立てる時に使用しますので、なくさないように保管してください。

MP1パーツ(ダークグレー)
(ABS樹脂:ABS)
(ポリプロピレン:PP)

MP1(エモーションマニピュレーターSP)は全関節可動のため、非常に精密な造りになっています。
※各指関節は図解の矢印の方向以外には絶対に動かさないでください。
※各関節を動かすときは、関節の根元部分を押さえながら、ゆっくり動かしてください。

SB1パーツ(クリアブルー)
(スチロール樹脂:PS)

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

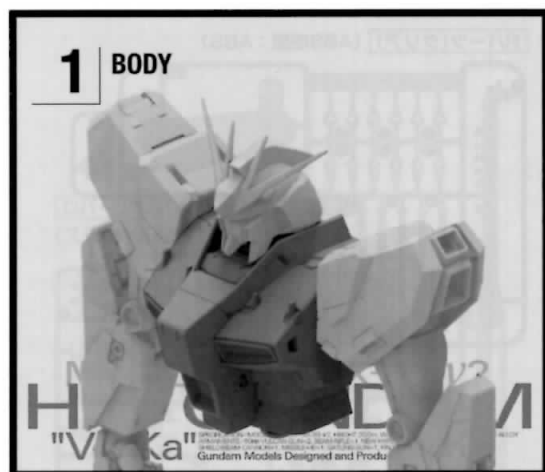
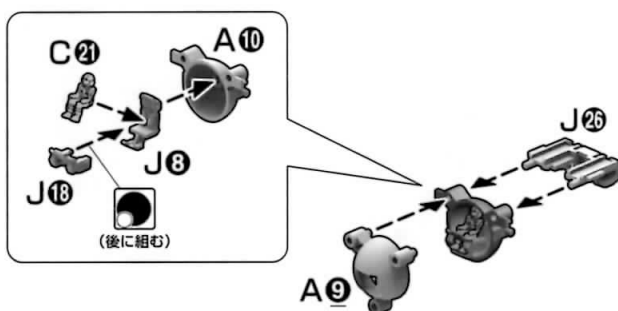
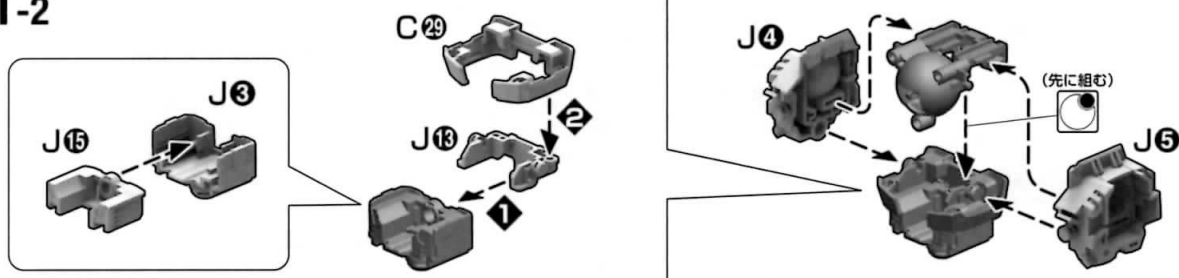
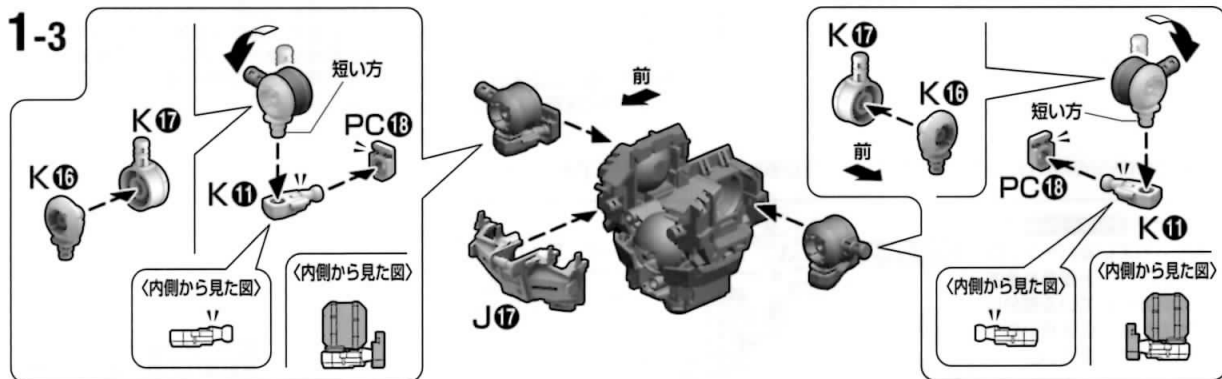
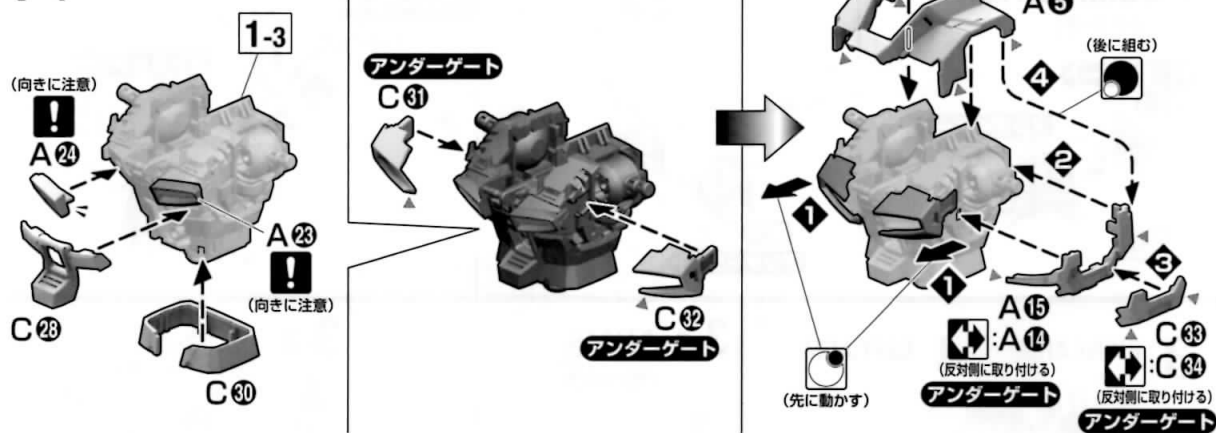
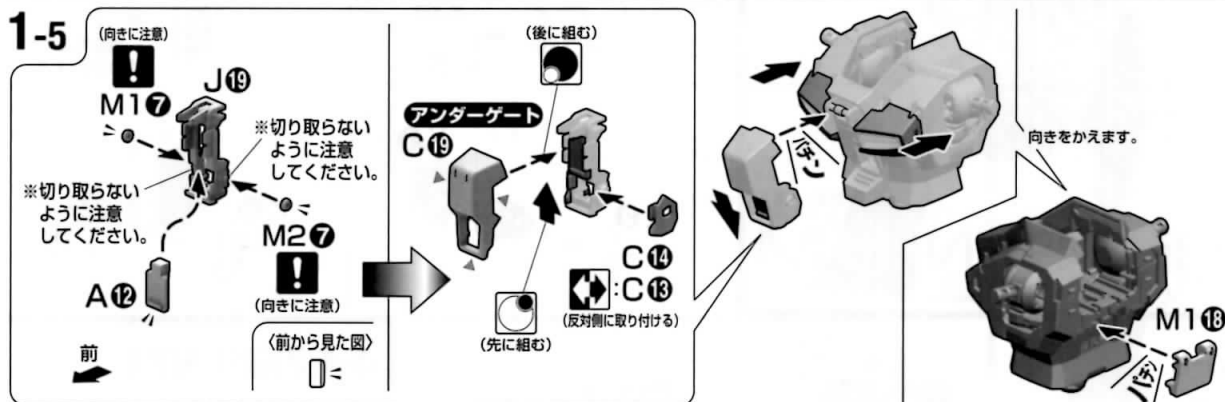
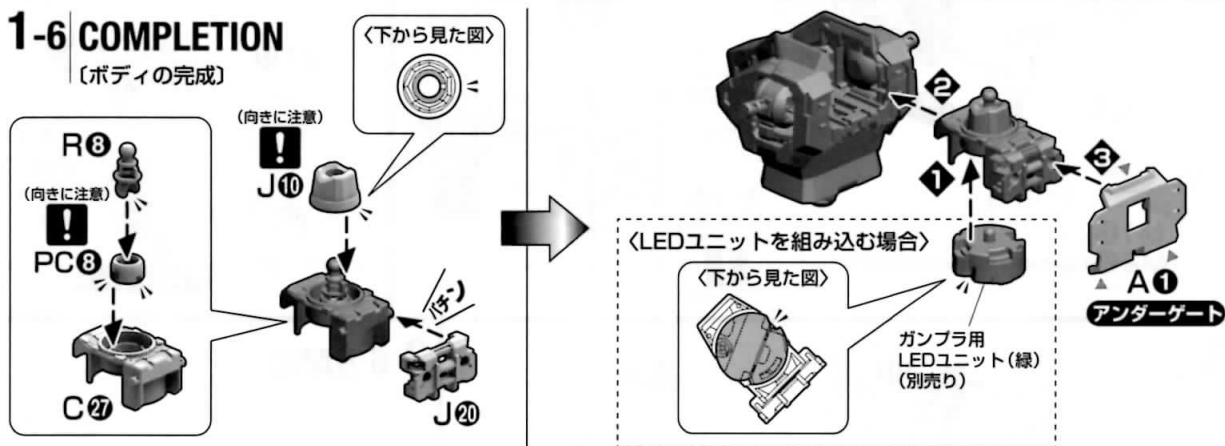
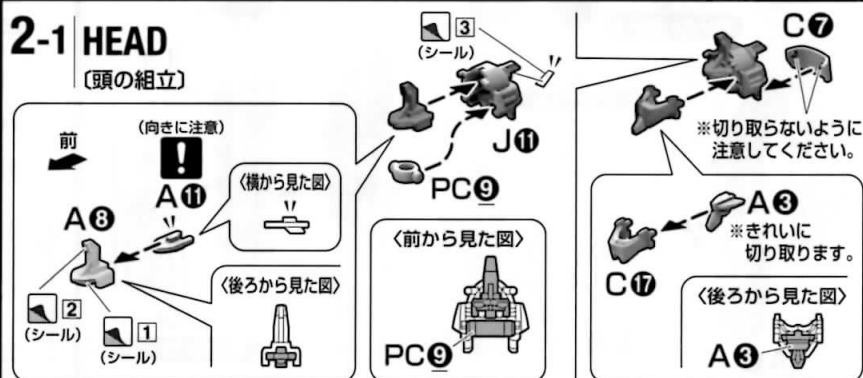
※説明書で アンダーゲート と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。
▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

カラーシール……………1枚
水転写式デカール………1枚

⚠ 注　意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

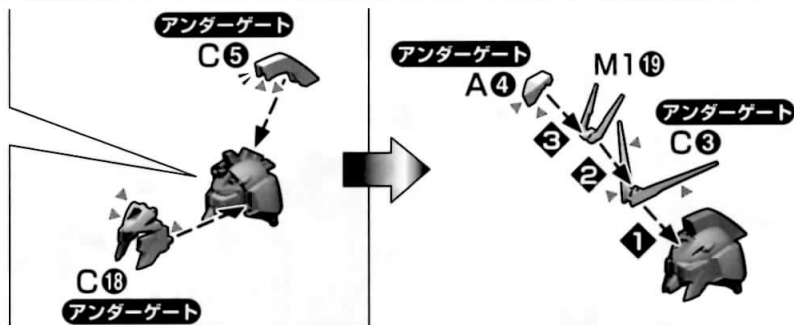
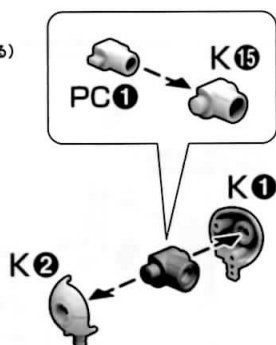
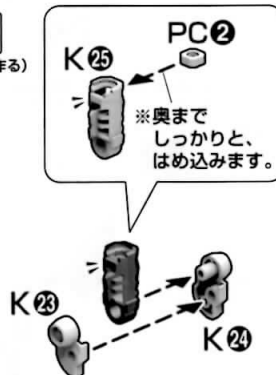
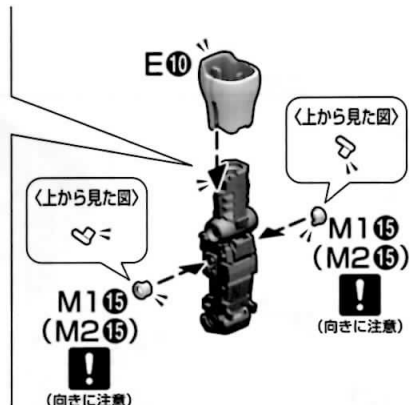
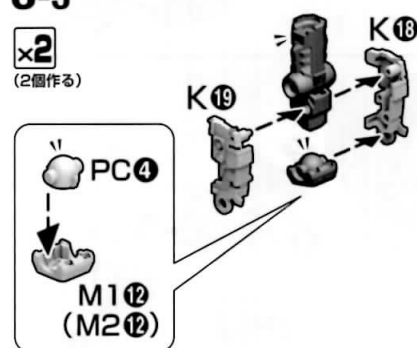
●本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
●小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
●ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
●尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉
●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
●塗装にはより安全な『水性塗料』のご使用をおすすめします。
●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

1-1 BODY
〔ボディの組立〕

1-2

1-3

2-2 COMPLETION
〔頭の完成〕

3-1 ARMS
〔腕の組立〕

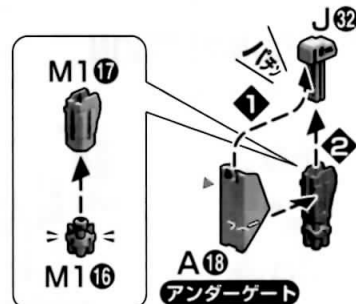
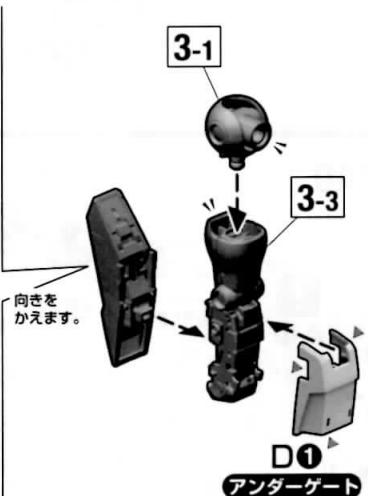
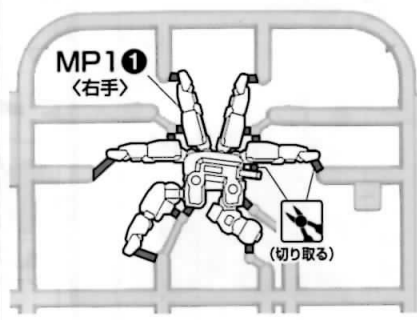
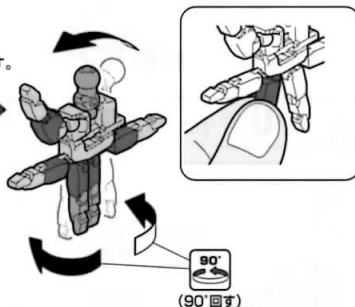
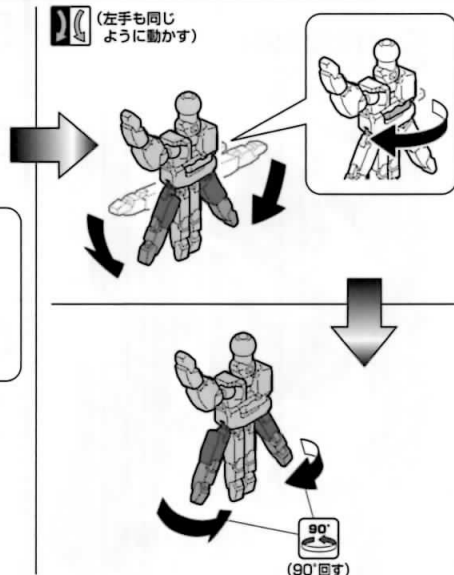
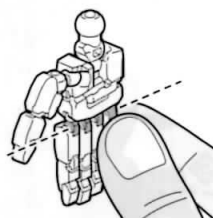
3-2

3-3

3-4 RIGHT ARM
〔右腕の組立〕

3-5

3-6 HAND
〔手の組立〕

※■部分を切り取ります。
※左手(MP1❷)も同じように切り取ります。

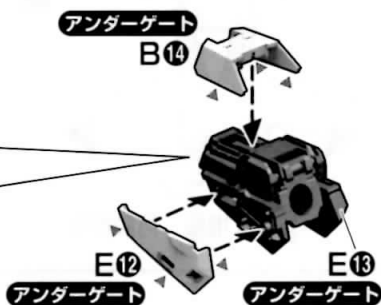
PARTS LIST
BODY
HEAD
ARMS
UPPER BODY
WAIST
LEGS
BOTTOM
BACK PACK
BODY ASSEMBLE
WEAPONS

3-7
※・部分の各関節が可動します。
※各指関節(□部分)を動かすときは必ず矢印の方向に動かしてください。
※逆方向に動かすと破損する恐れがあります。
※破損の恐れがありますので、逆関節方向には絶対に曲げないでください。
〔指部・可動箇所〕
※左手も同じように動かします。
※各指関節を動かす時は関節の根元部分を押さえながらゆっくり動かしてください。
向きをかえます。
90°
(90°回す)
(左手も同じように動かす)
90°
(90°回す)

3-8
(左手も同じように動かす)
180°
(180°回す)
(左手にも取り付ける)
C㊱
(C㉟)
アンダーゲート
(左手も同じように動かす)
〈完成画像〉
※説明のため、手甲パーツ(C㉟・C㊱)は外してあります。
※指付根部の関節は強度上、固めになっていますので、指の付け根を押さえながら点線の箇所を一本ずつ動かすようにしてください。
3-9 COMPLETION
〔右腕の完成〕
3-5

4 LEFT ARM
〔左腕の組立〕
J9
J31
アンダーゲート
A7
A2
3-3
アンダーゲート
D6
D5 アンダーゲート
3-1
D7
アンダーゲート
向きをかえます。
3-8
〈左手〉

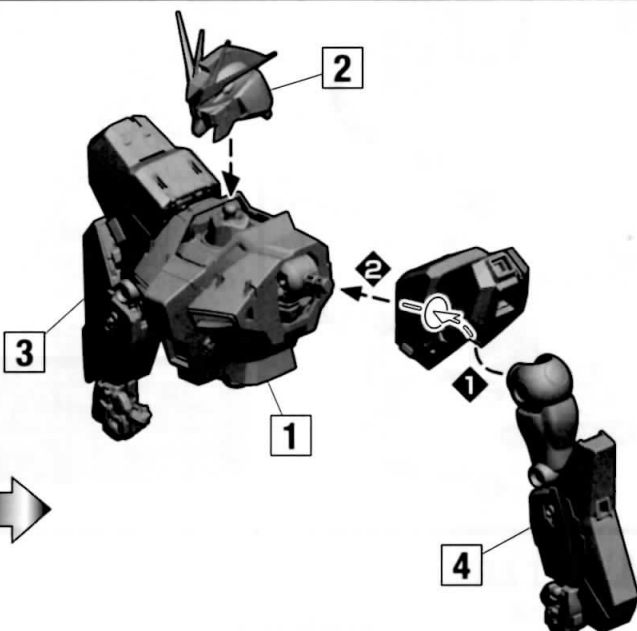
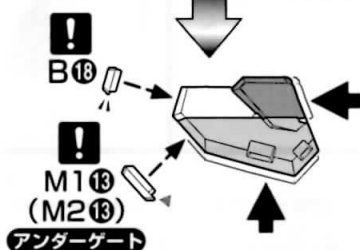
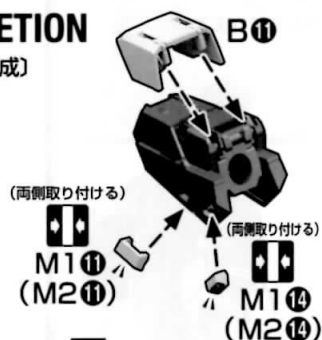
5 UPPER BODY

5-1 UPPER BODY
〔上半身の組立〕

×2
(2個作る)

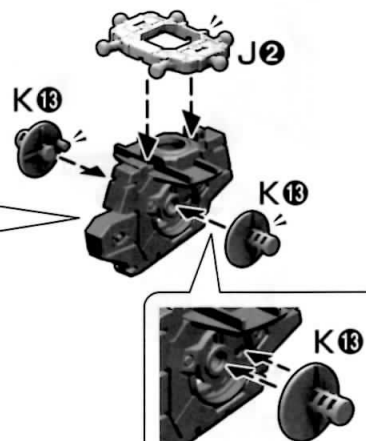
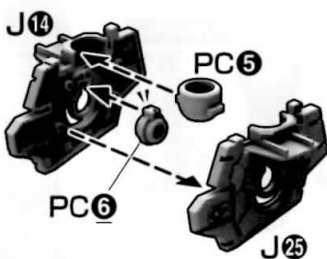
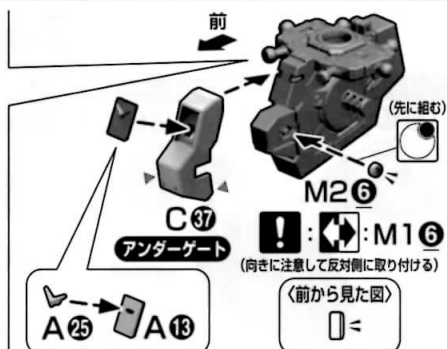
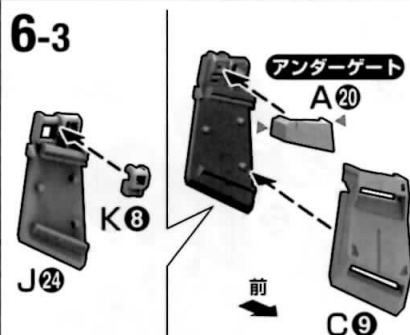
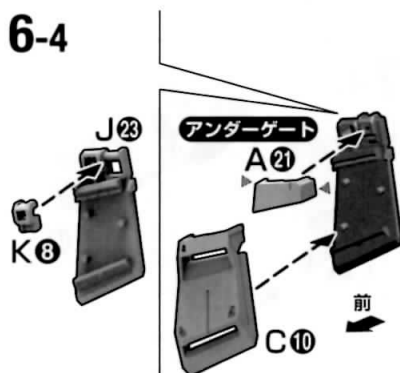
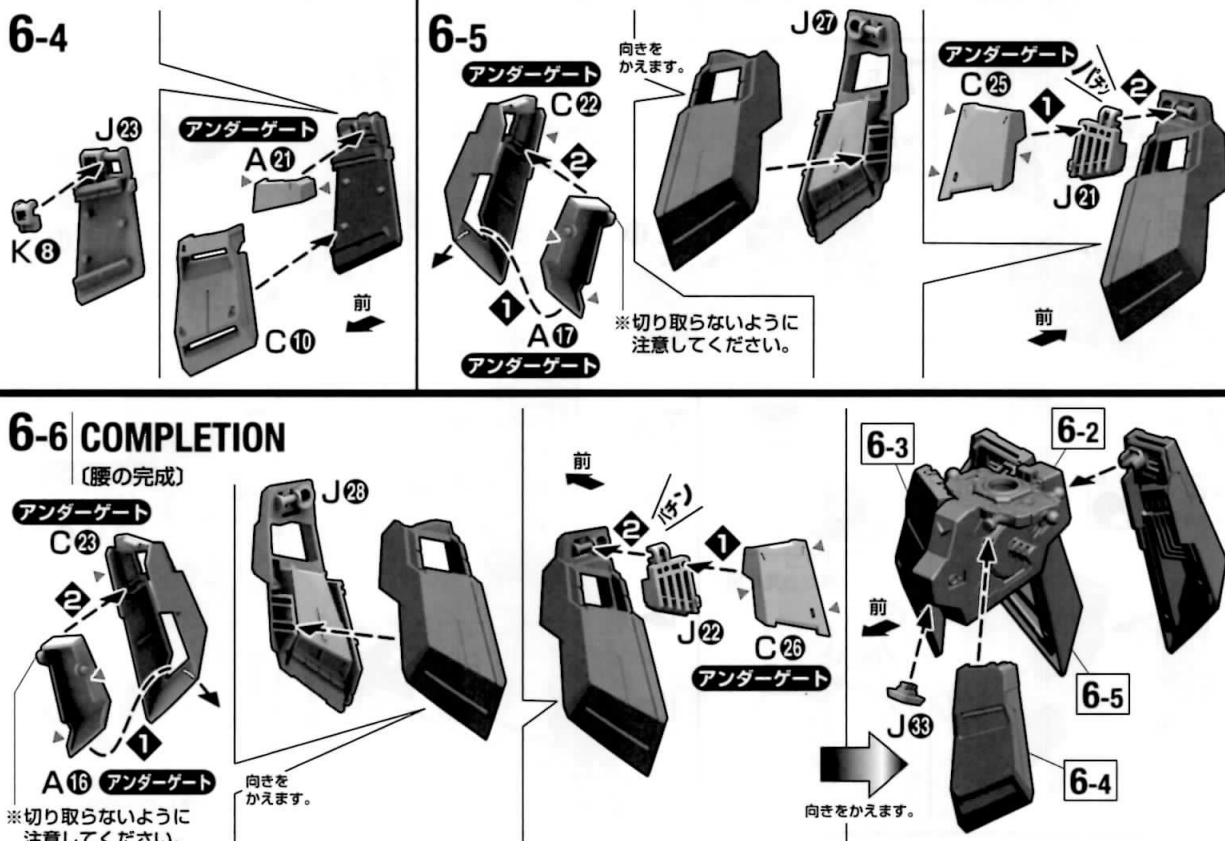
5-2

×2
(2個作る)

5-3 COMPLETION
〔上半身の完成〕

×2
(2個作る)

6 WAIST

6-1 WAIST
〔腰の組立〕

6-6 COMPLETION

〔腰の完成〕

7 RIGHT LEG

8 LEFT LEG

7-1 LEGS

〔脚の組立〕

PARTS LIST | BODY | HEAD | ARMS | UPPER BODY | WAIST | LEGS | BOTTOM | BACK PACK | BODY ASSEMBLE | WEAPONS

11-1
〈ステーパーツの組立〉

R❶

R❿

11-2 BODY ASSEMBLE

10-2

10-8

パチン

10-4

5

9

J❻

※より安定して立たせる場合にステーパーツを使います。

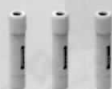
※C⑳は好きなところに飾ってください。

12 BEAM RIFLE

13 NEW HYPER BAZOOKA

14 SHIELD

15 BEAM SABER

MOBILE SUIT RX-93-ν2
Hi-ν GUNDAM
"Ver.Ka"
Gundam Models Designed and Produced by Ka

12-1 BEAM RIFLE
〔ビーム・ライフルの組立〕

G㉑

G⓯

G㉒ アンダーゲート

D❽

G㉓

12-2

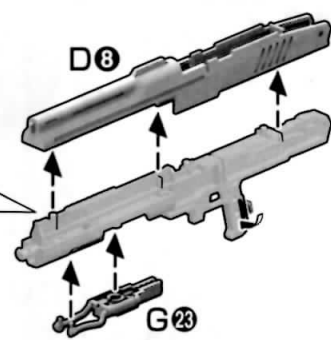
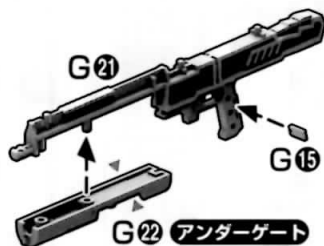
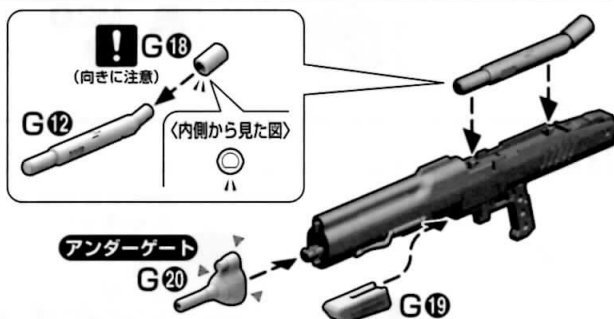
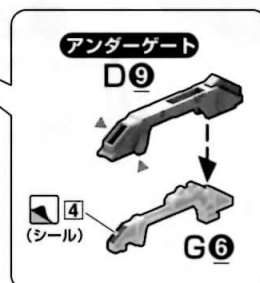
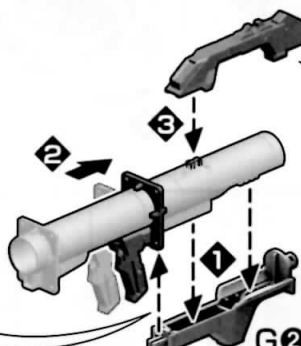
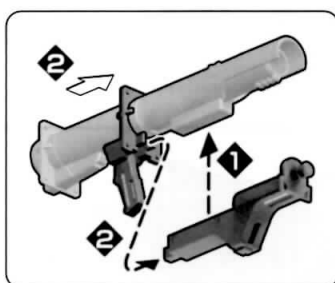
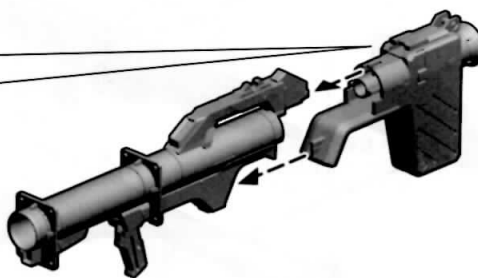
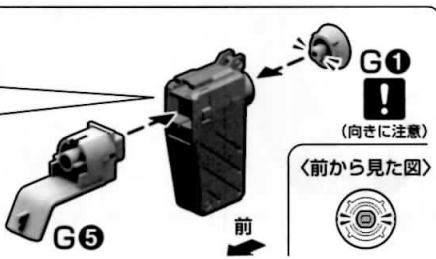
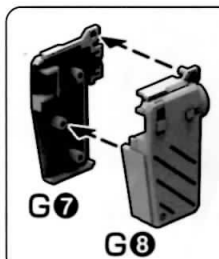
G⓲ (向きに注意)

G⓬

〈内側から見た図〉

アンダーゲート

G⑳

G⓳

13-1 NEW HYPER BAZOOKA
〔ニュー・ハイパー・バズーカの組立〕

D⓫

G❸

5 (シール)

(先に組む)

G⓫

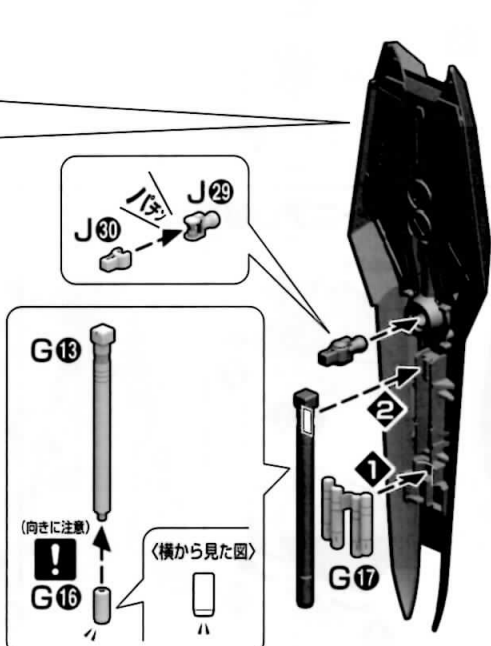
PARTS LIST | BODY | HEAD | ARMS | UPPER BODY | WAIST | LEGS | BOTTOM | BACK PACK | BODY ASSEMBLE | WEAPONS

13-2

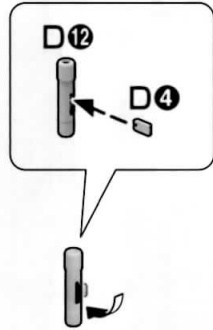
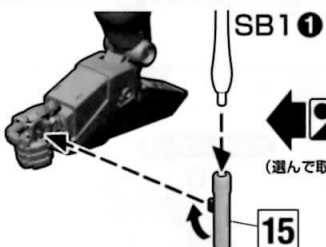
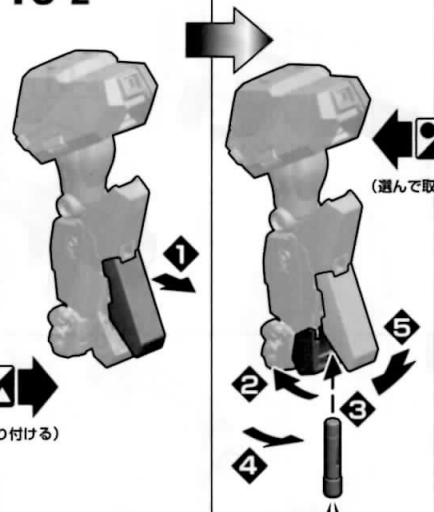
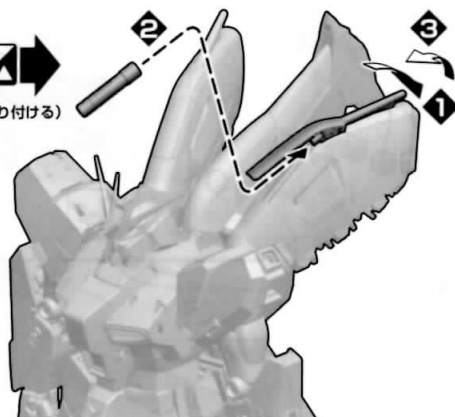
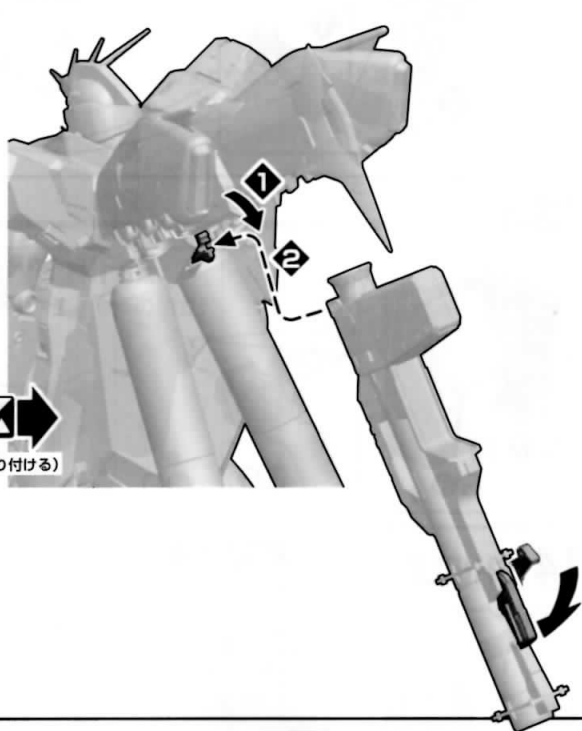
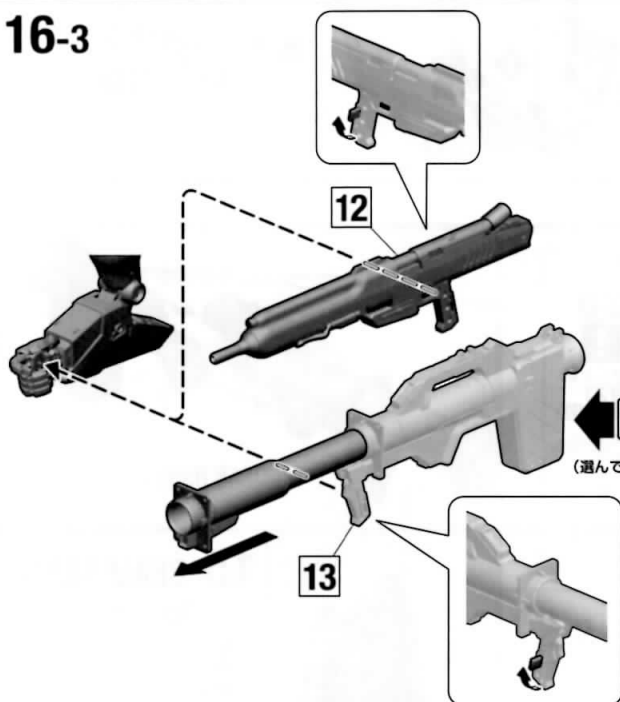
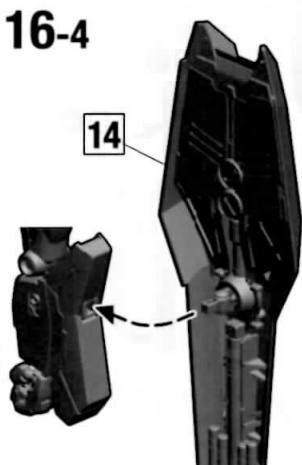
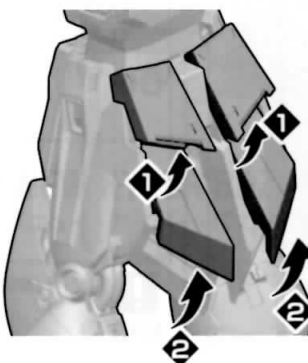
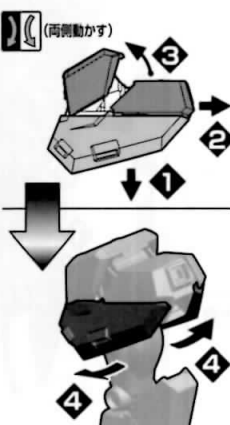
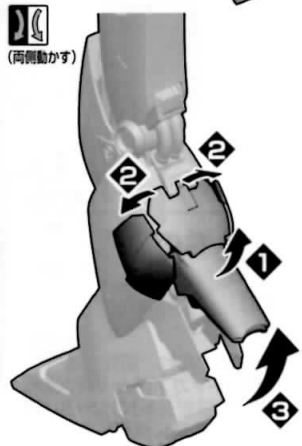
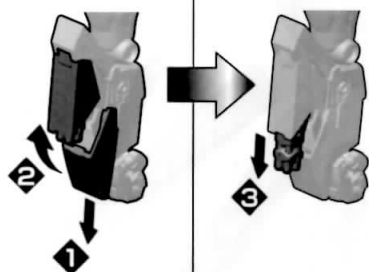
13-3

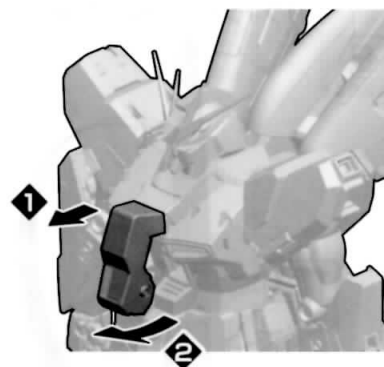
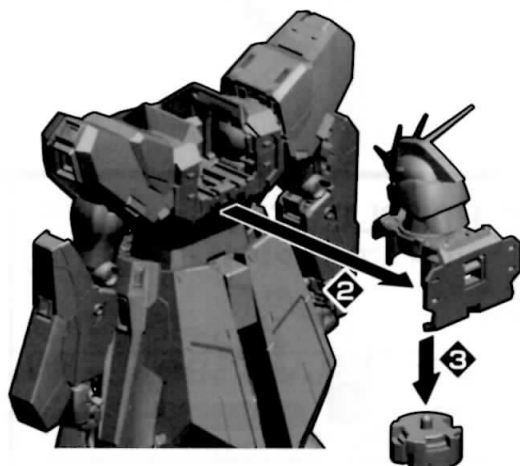
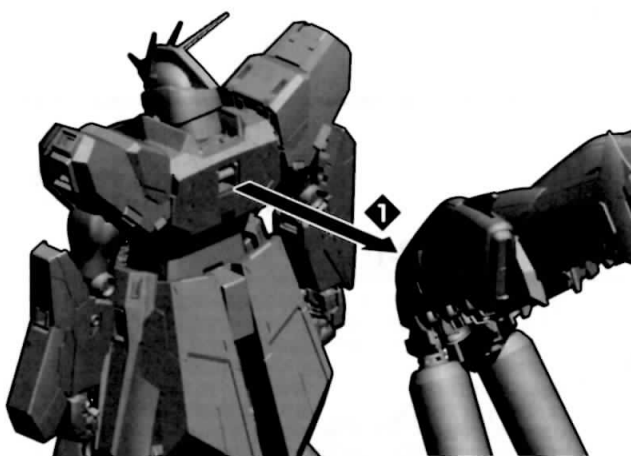
13-4

14 SHIELD

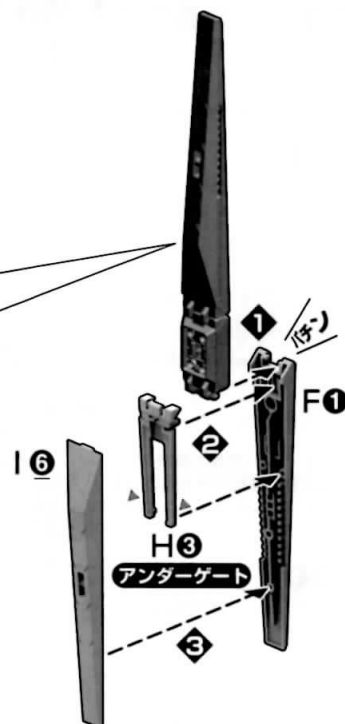
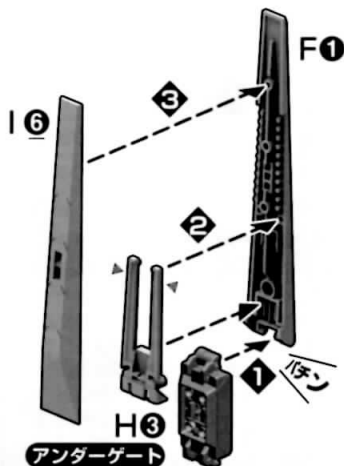
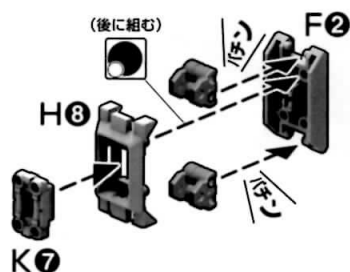
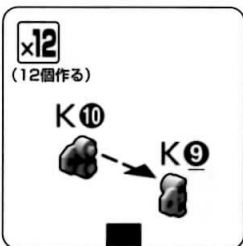
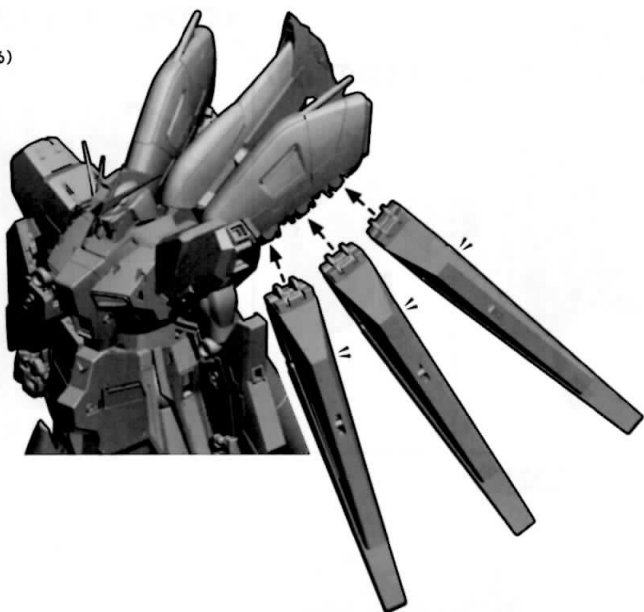
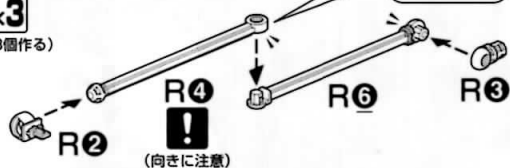
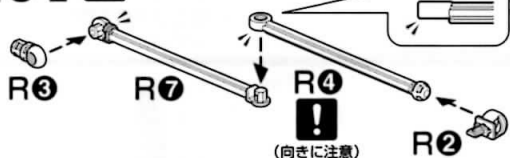
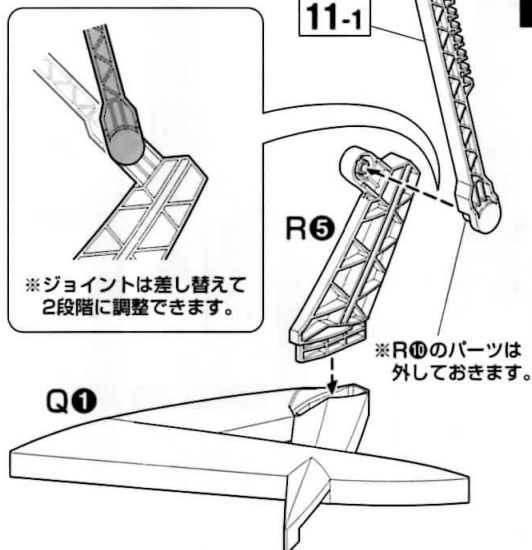
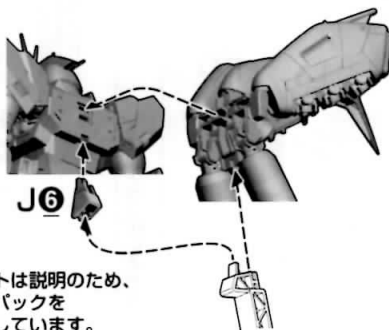
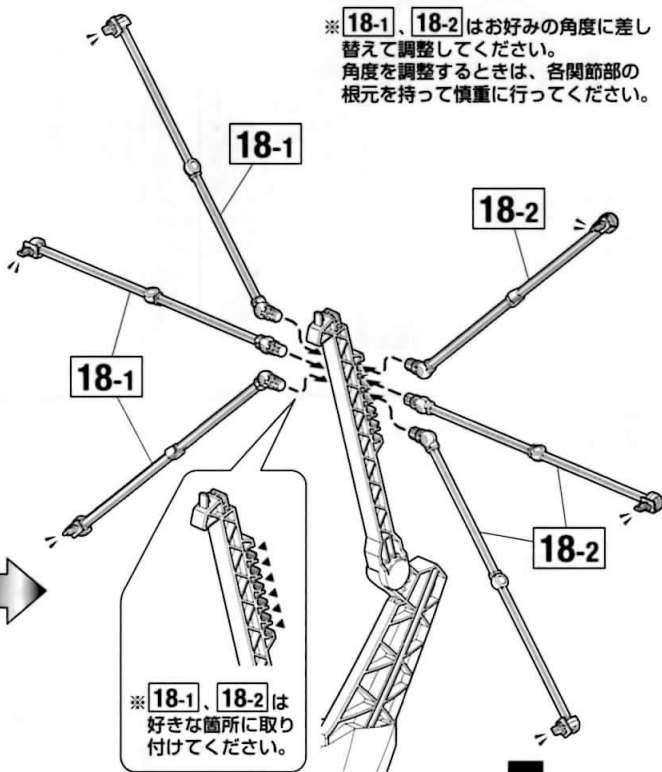
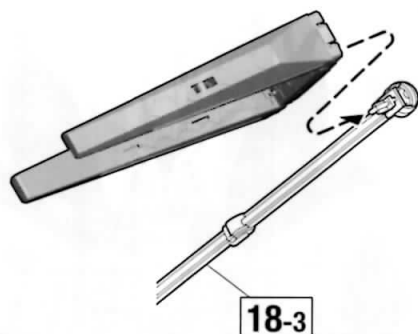
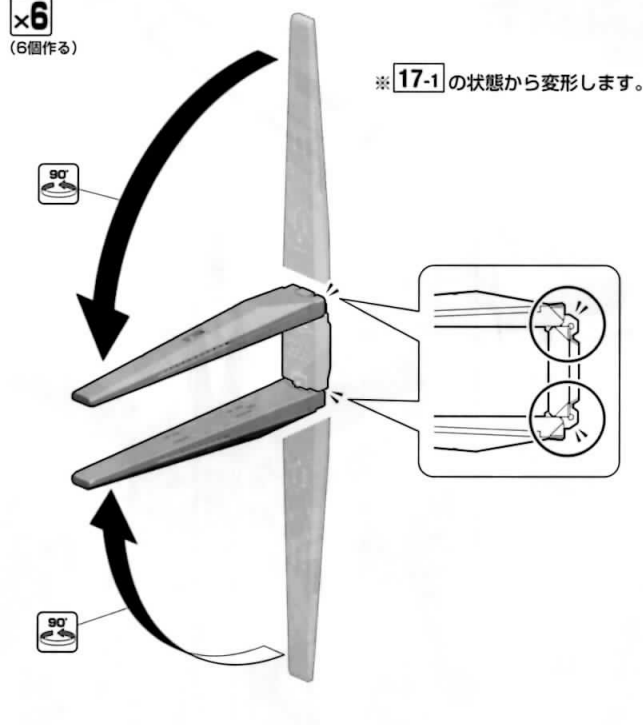
〔シールドの組立〕

15 BEAM SABER

〔ビーム・サーベルの組立〕

※余ったPC❿は、別売りの「MG Hi-νガンダム Ver.Ka用HWS拡張セット」のシールドを組み立てる時に使用しますので、なくさないように保管してください。

16-5
〈ビーム・ガトリングガンの展開〉

〈コクピットハッチの開け方〉

〈コクピットブロックの展開〉

〈電池の交換〉

※電池の交換はガンプラ用LEDユニット（緑）（別売り）の組立説明書を参照してください。

17-1 FIN FUNNEL
〔フィン・ファンネルの組立〕

（6個作る）

17-2 COMPLETION
〔フィン・ファンネルの完成〕
×6
(6個作る)
17-1
(両側取り付ける)
18-1 DISPLAY STAND
〔ディスプレイスタンド〕
×3
(3個作る)
〈横から見た図〉
R❷
R❹
(向きに注意)
R❻
R❸
18-2 ×3 (3個作る)
〈横から見た図〉
R❸
R❼
R❹
(向きに注意)
R❷
18-3
11-1
R❺
Q❶
※ジョイントは差し替えて
2段階に調整できます。
※R❿のパーツは
外しておきます。
※18-1、18-2はお好みの角度に差し
替えて調整してください。
角度を調整するときは、各関節部の
根元を持って慎重に行ってください。
18-1
18-2
18-1
18-2
※18-1、18-2は
好きな箇所に取り
付けてください。
J❻
※イラストは説明のため、
バックパックを
取り外しています。
PARTS LIST
BODY
HEAD
ARMS
UPPER BODY
WAIST
LEGS
BOTTOM
BACK PACK
BODY ASSEMBLE
WEAPONS

《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号／商品名／部品の記号／部品番号／数量を明記していただき、部品注文カード（部品注文カードのコピー、手書き可）、部品代＋送料の料金（100円単位を定額小為替、100円未満を切手）と共に封書にてお送りください（封書の裏に必ずお客様のお名前／ご住所／年齢をお書きください）。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。**※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

■申し込み先
〒420-8681　静岡県静岡市葵区長沼500-12
（株）バンダイ静岡相談センター　TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月〜金曜日（祝日を除く）10:00〜16:00
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0192078
1/100SCALE MGシリーズ
Hi-νガンダム〔Ver.Ka〕
必要な部品の記号・番号・数量をかく
●注文された理由（○で囲む）（こわした・なくした）
・日中ご連絡可能な電話番号　・**年齢**
（　-　-　）（　才）
R2258270　'14.08
2014.08/SA・ON　※コピー使用可

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	MP1❶·MP1❷	Q❶	H❹·H❺·H❻	カラーシール	水転写式デカール	その他の部品
部品代	200円	各300円	200円	各60円	60円	800円	各60円
郵送料	205円	120円	205円	140円	82円	140円	120円

●部品の価格および送料は変更する場合があります。部品代には、消費税が含まれています。郵送料が改訂された場合は新料金が適用されます。

MG Hi-νガンダム〔Ver.Ka〕のカメラアイを発光させたい方は、こちらをお読みください。

必ず先にお読みください

LEDセット(緑)〈LEDライトユニット(緑)、J1❶、ビス各1個〉のご注文は右記の部品注文カードをご利用ください。申し込み方法等の詳細は、上記《お買い上げのお客様へ》をご参照ください。また、在庫がない場合には誠に申し訳ありませんがご注文をお返し致します。ただし、その際の発送に掛かった費用はお客様負担となりますので、予めご了承ください。LEDセットの通販は予告無く終了する場合があります。
上限3セットまでお受けできます。（カメラアイを発光させる場合は、LEDセット(緑)が1セット必要です。）
WEBでもご注文を受付けております。（通信費等はお客様のご負担となります。）
▶http://bandai-hobby.net/hobbyblog/news/partsorder/ **※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

《料金表》

個数	1セット	2セット	3セット
部品代	700円	1400円	2100円
郵送料	120円	120円	140円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0192078
1/100SCALE MGシリーズ
Hi-νガンダム〔Ver.Ka〕LEDセット(緑)
必要個数に○をつけてください
1セット　2セット　3セット
・日中ご連絡可能な電話番号　・**年齢**
（　-　-　）（　才）
R2258270　'14.08
2014.08/SA・ON　※コピー使用可

■水転写式デカール ❶～❶❷

COMPLETE DIAGRAM
for painting and applying decal

この水転写式デカールはプラモデルオリジナルのものです。
貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

■水転写式デカールの貼り方

1. 水転写式デカールは転写するマークより大きめに切り出し、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。デカールのいらない部分は切り取っておきましょう。
2. 台紙からデカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押して、気泡を取ってください。
乾くまでは、手を触れないでください。

※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。
※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は別にご用意ください。
※複雑な凸凹形状等に貼るデカールには、密着させるために別売りの水転写式デカール用軟化剤や水転写式デカール用接着剤をご使用ください。
※余ったデカールは好みに応じてご使用ください。

〈右腕内側〉
〈右腕〉
〈左腕〉
〈左腕内側〉
×2
〈左タンク〉
×6
×3
COLOR CHART
used paints and mixture ratio
※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。
AMURO RAY
Hi-ν ガンダム
【本体ホワイト部の塗装色】ホワイト(100%)+グレー少量
【肩上部パープル部の塗装色】パープル(95%)+ホワイト(5%)
【インテークの塗装色】イエロー(80%)+ホワイト(10%)+オレンジイエロー(10%)
【関節などグレー部の塗装色】グレー(95%)+ブラック(5%)
【バーニアなどグレー部の塗装色】ホワイト(95%)+グレー(5%)
【ライフルなどグレー部の塗装色】グレー(65%)+ホワイト(30%)+すみれ色(5%)
アムロ・レイ
【ホワイト部の塗装色】ホワイト(100%)
【レッド部の塗装色】モンザレッド(100%)
【肌の塗装色】薄茶色(60%)+ホワイト(40%)
【髪の塗装色】ウッドブラウン(90%)+レッドブラウン(10%)
【上着の塗装色】インディブルー(90%)+ホワイト(10%)
※ここに掲載している情報は2014年8月現在のものです。

MOBILE SUIT RX-93-ν2 Hi-νGUNDAM "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition：ISHIWAKI TSUYOSHI（GUNDAM A）
Edition/writing : MITARAI KOJI
Design : SAITO DAISUKE
Photo : HONDA KEIGO（ENTANIYA）
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI（JAM）